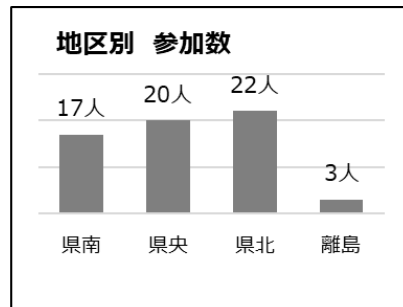
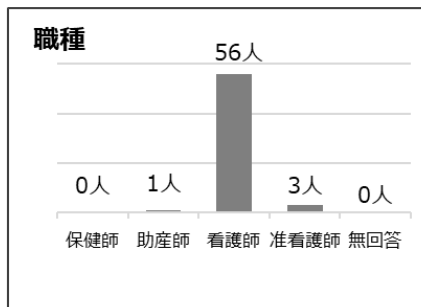
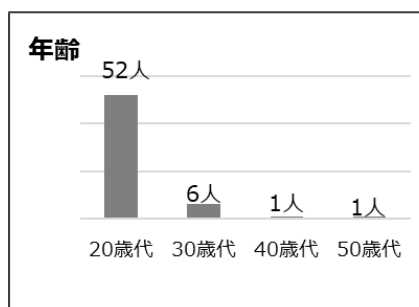


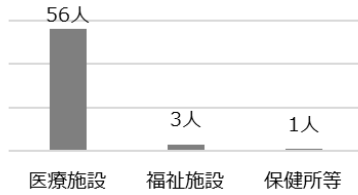
新人看護職員研修・交流会

目的：自施設で研修が出来ない施設に勤務する新人看護職員、看護技術に不安のある新人看護職員の質の向上および早期離職防止を図る。新人看護職員同士の交流を通じて、勤務する施設外における仲間づくり、ネットワーク化を図ることで離職防止を図る。

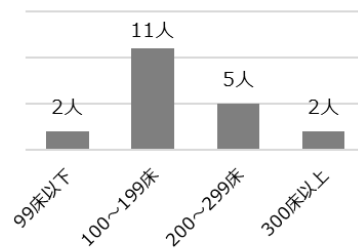
回	時 間	内 容	県 南 ・ 県 央	県 北
1	【 3 地区合同 】 ながさき看護センター 5月9日（木）			
	10：00～12：30	看護職として必要な基本姿勢と態度	長崎県看護協会 会長 日野出悦子	
	13：30～16：00	第1回 交流会 コミュニケーション「気持ちをどう伝える？」		
2			5月14日（火）	5月17日（金）
	10：00～12：30	フィジカルアセスメント（呼吸・腹部）	集中ケア認定看護師 前田理恵	クリティカルケア認定看護師 中村美穂
	13：30～16：00	フィジカルアセスメント（循環・脳神経系）		脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 中野真由美
3			5月21日（火）	5月24日（金）
	10：00～12：30	急変時の対応	救急看護認定看護師 山口和美	救急看護認定看護師 松井幸司
	13：30～16：00	感染管理の基本	感染管理認定看護師 木場みちよ	感染管理認定看護師 福井良枝
4			5月28日（火）	5月31日（金）
	10：00～12：30	医療安全の基礎知識	医療安全管理者 小川裕美	医療安全管理者 月原美奈子
	13：30～16：00	多重課題への対応（グループワーク）	長崎県看護キャリア支援センター 職員	
5	【 3 地区合同 】 ながさき看護センター 6月28日（金）			
	13：30～16：00	第2回 交流会 「セルフマネジメント」	長崎県立大学シーボルト校 教授 大重育美	
6	【 3 地区合同 】 ながさき看護センター 10月1日（火）			
	13：30～16：00	第3回 交流会 「振り返り」	長崎県看護キャリア支援センター 職員	
7	【 3 地区合同 】 ながさき看護センター 1月24日（金）			
	13：30～16：00	第4回 交流会 「2年目に向けて」	NPO 法人日本看護キャリア開発センター 副代表 江藤 節代	



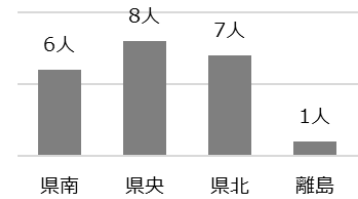
現場の施設



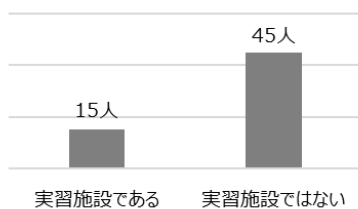
病床数別 施設数



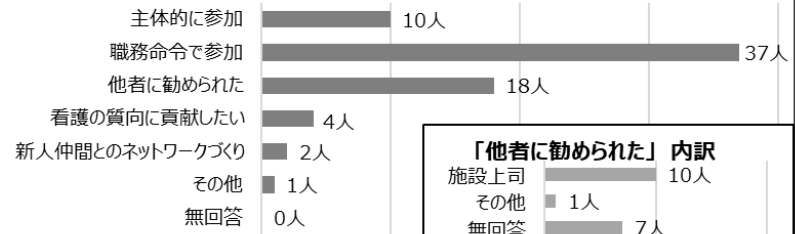
地区別 施設数



就職先



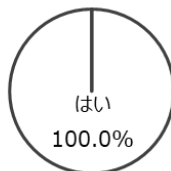
受講動機（複数回答可）



「他者に勧められた」内訳



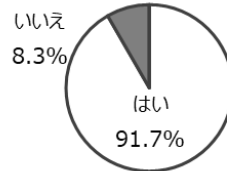
開催時期は適切だったか



<はい>

- ・息詰まっていたが、この時期の参加で楽になった
- ・就職して間もない時期で不安が大きかったから
- ・何もわからないときに仲間に出会えたため
- ・毎日病棟でドキドキしている時期だったので一息つける時間になった
- ・知識・技術の整理をしたい時期であり適切であった
- ・始まったばかりでよかった
- ・最初の時期にすることで今後頑張ろうと思った
- ・学生で習ったことの振り返りでいい時期だった
- ・みんなの進み具合がわかった
- ・すぐ息抜きになった
- ・入職直後で知りたい技術・知識を知ることができた

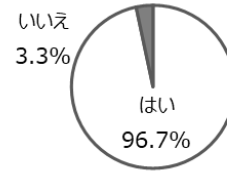
研修回数は適切だったか



<はい>

- ・リフレッシュになった
 - ・数回に分けることで頭の整理ができる
 - ・週1回リフレッシュできた
 - ・1週間に1回が丁度よかった
 - ・丁度いい
 - ・週1で丁度よかった
- #### <いいえ>
- ・2日に2講義あると頭が混乱してしまったので分けてほしい
 - ・もう少し回数が多くてもいいと思う
 - ・5月に重なりすぎて、もう少し間が空いてもいいと思う
 - ・少し多く感じた

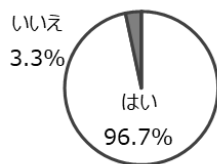
研修曜日は適切だったか



<はい>

- ・平日の方が来やすい
 - ・平日でよかった
 - ・土日前でよかった
 - ・木曜まで仕事を頑張れた
- #### <いいえ>
- ・火曜日だと次の勤務が週の真ん中できつかった
 - ・週の終わりでよかった
 - ・土日じゃなくてよかった

研修方法は適切だったか



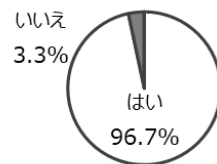
<はい>

- ・グループワークがあり、学びが深まった
- ・いろんな人と席が一緒になった
- ・いろんな病院の方が来てくださった勉強になった
- ・考えやすかった
- ・人形とか使ってわかりやすかった
- ・動画やグループ話し合いができたのでよかった

<いいえ>

- ・スライドの話を聞くのみで理解が難しいときもあったので、実践も増やしてほしい

講義項目・順番は適切だったか



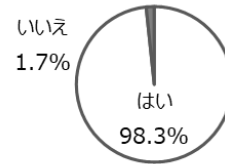
<はい>

- ・看護の基礎から現場である多重課題まで学ぶことができてわかりやすかった
- ・フィジカルアセスメントが早くてありがたい
- ・看護師として必要なことが入っていたから
- ・わかりやすかった
- ・考えやすかった
- ・わかりやすかった

<いいえ>

- ・医療安全は早めでもよかった
- ・5/9午前の講義内容の違いに驚いた

研修場所は適切だったか

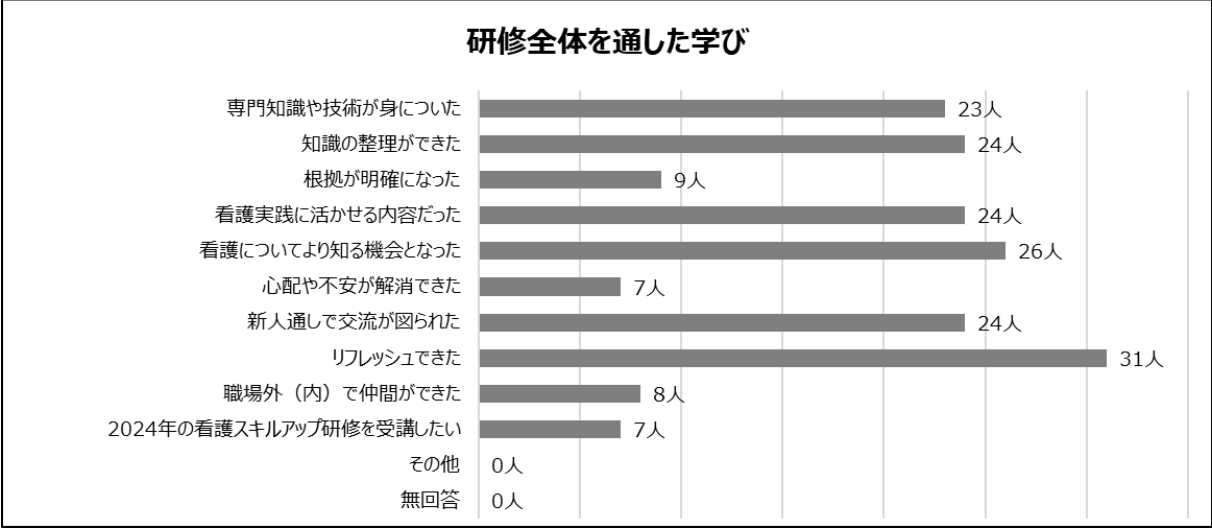
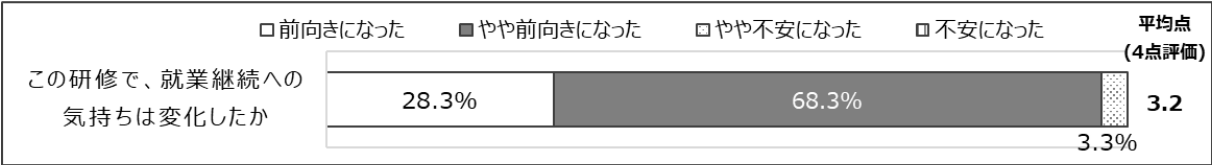


<はい>

- ・近かった
- ・諫早は遠いが佐世保の時はよかった
- ・職場に近くてよかった
- ・もう少し遠くていい
- ・諫早は遠いので助かる

<いいえ>

- ・自宅から遠く、交通費がかかる



受講者数	62人
回答者数	60人
回答率	96.8%

※割合の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合があります

所属施設 地区別

	病院	クリニック	福祉施設	その他
県南	17			
県央	20			
県北	22			
離島	3			
計	62			

<評価>

研修評価は、6 項目（時期・回数・曜日・方法・項目順番・場所）で 90%以上と高く、特に「行き詰っていたがこの時期で良かった」「最初の時期で今後頑張ろうと思った」など、入職初期時期での開催は高く評価された。研修効果としては、96.6%の受講者が、「研修後就業継続に対して前向きな気持ちになった」と回答しており、礎知識の復習と新しい知識の習得、実践に活かせる内容による学びの深まり、グループワークを通じた他施設の新人との交流によるリフレッシュ効果などの肯定的な意見も多く聞かれた。

交流会では、より新人看護職員の思いを吐き出せる時間を重視した。受講者からは、[同じ境遇][同じ悩み]など、同じ立場の新人看護職と共感し合え、[リフレッシュできた][楽しかった]と交流会の雰囲気の良さ、[頑張ろうと思った][前向きな気持ちになった]などモチベーションの向上と前向きな気持ちが醸成されていた。

新人看護職員の資質向上、精神面での就業継続支援にも効果があり、有益な研修であったと評価する。

<課題と今後の取り組み>

アンケートの意見は、自施設では言えない日ごろの思いを聞くことができ、新人看護職員教育者にも大切な情報である。今年度は、離職に関するアンケートの年間まとめと交流会アンケートを、県内全施設に郵送したが、次年度も継続し情報提供を行う。さらに、3年間の継続調査により、新人看護職員の傾向としてまとめる。

交流会は精神面に効果があるため、管理者への選択参加を推奨するなど、HP・チラシ等での周知広報にも取り組みたい。